

畑の草に潔癖過ぎる日本人

財団法人 日本植物調節剤研究協会会長
河 田 党

去る7月の末から8月の初めにかけて、日本植物調節剤研究協会主催のミカン園除草剤の現地検討会が、愛媛・大分・熊本・福岡の各県を巡回して行なわれた。

戦後、日本の果樹園では草生栽培がとり入れられ、これらの各県でもこれが行なわれている。エロージョンの防止、敷薬の不足を補填する等の意味で、これら果樹園の下草が重要な役割を果たしていることは申すまでもないが、他方乾燥を嫌うミカン園で、これらの草が蒸散によって失なう水分の量も甚だ多く、乾燥期の草の生えていることはあまり望ましいことではない。そこで、雨の多い、梅雨期の6～7月、台風シーズンの9月等には草が茂って、エロージョン防止の役を果たし、乾燥期の8月および冬期には草が枯れてほしいわけである。しかも、この草が枯れて地表をおおい、敷薬代用となることが望ましい。

然るに、この検討会で問題になったことは、視察したミカン園の中には、あまりに抑草期間の長い除草剤を用いて、再び草が生えてくるまでには余りに長期間を要し、折角の草生栽培の意味が無に帰するのではないかということであった。自らミカンの栽培を行なっている当業者が、草の生えるのを気にする気持はわかる。しかし、指導者までがあまりに潔癖に過ぎて、赤裸のミカン園としてしまわないよう注意が喚起された。

目 次

「国際かんきつシンポジウム」

で論じられた

雑草防除と植物調節剤の

諸問題(2) 一完結編一

農林省園芸試験場

果樹部長 大 畑 徳 輔

..... 2

昭和42年度秋冬作そ菜関係

除草剤・生育調節剤

試験成績概要

農林省園芸試験場

そ菜部 西 貞 夫

..... 7

除草剤解説

ジフェニルエーテル系除草剤(2)

..... 19

新除草・調節剤

S W - 6 7 0 1 水和剤

..... 21

S - 4 1 6 0 水和剤

..... 22

お 知 ら せ

植調第2巻第4号は、秋冬作そ菜関係除草剤・生育調節剤の試験成績を収録したが、これについて、ご質問がありましたら、植調編集委員会までお問い合わせ下さい。